地域おこし協力隊『まさのりの活動日誌』vol.2

地域おこし協力隊として活動する藤田昌永（ふじた まさのり）さん。
主に観光客に向けた自然を活用したアクティビティ体験などに携わっています。近況の活動について報告します。

▲大札山の山頂にてベテランガイドによる山の説明。

▲ヤマセミ会議にて快適な環境づくりの話から、人の意識変革までさまざまな意見交換。

大札山のトレッキングを通して感じた自然への想い

地域おこし協力隊
藤田 昌永（ふじた まさのり）さん

こんにちは、協力隊のノリです。今年もいつまでも暑い日々が続きましたが、寒くなるとお日様が恋しくなりますね。

今回は秋のイベント「大札山　樹名板設置＆トレッキング」へ同行したことについて書きます。 昔は小学生の遠足で登ったという大札山。当日も６歳から 75 歳と老若男女問わず参加していただきました。

比較的登りやすい山とはいえ、急こう配の山道を歩いたり、足場の悪い箇所もあったりとヒヤッとする場面もありました。 それでもブナ、ヒメシャラ、モミなど多様な種類の木々に出会ったり、南アルプスや富士山を望む山頂からの展望も良く、改めて多くの登山者に親しんでいただきたい場所だと思いました。

しかし、現在、大札山登山口までの林道・南赤石線は全面通行止めとなっています。今回のツアーは、町の主催事業であったため、担当課の職員同行のもと特別に許可を得て登山口まで送迎していただきました。道中土砂崩れのあるポイントを何度かすれ違い、安全確保が保証出来ない中での規制解除の難しさを感じました。同時に、パーマカルチャー（人と自然が共存する社会をつくるためのデザイン）の研修で出会った『大地の再生』の視点を取り入れることは、有効な手立てではないかと感じました。 自然の保全一辺倒でも、人間社会優位の開発でもなく、今ある土木技術を上手く利用しながら、山の生命線である「水脈、気脈」の流れをスムーズにする「大地の再生」。 それは「自然と人間社会の共生」を謳うユネスコエコパークの目的にも合致しています。

今回のトレッキングで 新緑や紅葉、きれいな水や空気など魅力いっぱいで私たちの暮らしを豊かにしてくれる山々を守りたい。その想いが強くなりました。
自然と人間社会が共生していくために私たちができることを探っていきたいですね。

創業昭和３８年　三代続く外壁塗装・屋根工事の専門店
川根本町地名 1297-1　https://tosouya-nakapen.com
090-5879-1694
代表 中村哲也
職人直営 塗装屋ナカペン

発行：川根本町　編集：デジタル推進課 デジタル推進室
住所：〒428-0313 静岡県榛原郡川根本町上長尾627
☎0547(56)2232 広報かわねほんちょうは、再生紙を使用しています。

広報かわねほんちょうでは、おたよりなどお待ちしています。
町に関すること、広報に関すること、何でも気軽にお寄せください。
FAX(56)2235 役場デジタル推進課デジタル推進室までどうぞ

UD FONT by MORISAWA